

# 女子が優勝

## 通算40回目

5月13日から19日まで、代々木第二体育館ほかで春季関東学生卓球リーグ戦が行われ、女子が6勝1敗で通算40回目の優勝を果たした。

昨年は春秋連続で2位という結果に終わり、強い思いで今年のリーグ戦に臨んだ。初戦の日体大戦を4-2で勝利し、専大女子の躍進が始まった。続く東洋大、大正大、中大戦は鈴木李茄(商2・青森山田高)、劉莉莎(商4・日南学園高)を中心に試合をものにするなど、強豪・東京富士大にも4-2で快勝し、開幕から5連勝。迎えた早大戦も4-1で勝利し、最終日を待たずして優勝を決めた。最終日の淑徳大戦は惜敗し、全勝はかなわなかったものの新チーム初の公式戦で実力をみせた。

### 卓球・春季関東学生リーグ戦



笑顔の女子部員たちと阿部勝幸監督(左端)

# 専大スポーツ

No.339

大会結果 予定は体育会ホームページ(専大ホームページ)からアクセスください  
専大スポーツ編集部 web(http://sensupo.com/)にて大会結果を配信いたします

### 関東学生新人選手権 男子複

## 田添・東ペアがV



今後が楽しみな田添(右)と東

5月24、25日に和光市総合体育館で関東学生卓球新人選手権が行われ、男子ダブルスで田添・東ペアが優勝した。

田添は男子シングルスでもベスト4に入った。田添・東ペアは準々決勝を3-0、準決勝を3-1と危なげなく勝利すると、決勝もストレート勝ち。他を寄せ付けないう圧力的な強さで頂点に立った。

また、田添は男子シングルスでもベスト4に入った。

(湯澤)

## 女子サーブルで2位

### 全日本学生王座の出場権獲得

#### フェンシング・関東大学リーグ戦

フェンシングの関東大学リーグ戦が5月12日から23日まで、駒沢体育館で行われ、専大は女子サーブルで2位となり、全日本学生王座の出場権を獲得した。また、女子はフルレ、エペ、サーブルの3種目総合でも2位となった。

サーブル第1戦の法大戦から第3戦の東女体大戦まで快勝した専大は、続く王者・日大との対戦で苦戦し、38-45で敗れた。しかし最終戦で日大には負け続けているのでも「優勝を目指していたので悔しかった。日大には負け続けているので、王座では必ず勝ちたい」と雪辱を誓った。

その他の順位は次のとおり。

【女子】フルレ 3位、エペ 4位、サーブル 4位、エペ 3位、フルレ 2位、サーブル 3位

【男子】サーブル 4位、エペ 3位、フルレ 2位、サーブル 3位

【男子】フルレ 3位、エペ 4位、サーブル 4位、エペ 3位

【男子】フルレ 2位、サーブル 3位

(鷲尾凌平・経済2)

### ゴルフ・関東大学春季Aブロックリーグ戦 専大は3位

## 全国大学対抗戦へ出場



▲九州アマを制した小浦主将 撮影・竹内

関東大学春季Aブロックリーグ戦が、埼玉県狭山市の東京ゴルフ倶楽部で5月1日から5日まで行われた。専大は3勝2敗の勝ち点3で全日程を終え、順位は3位。全国大学ゴルフ対抗戦(6月17、18日、北海道小樽力山田大(商1・横浜旭陵高)の活躍で今大会初勝利。続く4日目の早大戦も勝利を収めた。

最終日は中央学院大戦。専大はダブルスを3-1でリードしてシングルスをへつなぐと、山田大(商4・日南学園高)と小浦主将は「大学最後の年に優勝できて良かった」と話し、日本アマチュア選手権(7月8-11日、宮城県利府ゴルフ倶楽部)に向け「優勝を目指します」と語った。

(安江祐輔・経済3)

田、都和馬(商2・埼玉栄高)、松上和弘(経済4・高水高)、小浦主将が4勝し、8-4で勝ち点を手にした。

女子(6月4、5日、茨城県常総市フレンドシップCC)は5位だった。

### 九州アマで小浦が優勝

小浦主将は、九州アマチュア選手権(5月13日、福岡県糸島市サ・クイーンズヒルゴルフクラブ)にも出場し、6アンダーの好成績で初優勝を果たした。

### バスケットボール・専大は5位

5月11日から18日までの拓大戦は一進一退のシソーゲーム。最終ピリオドは相手のリードから始まるも、柳瀬さつき(文4・金沢総合高)、村山(京大)、法大に連勝の連続得点で一気に専大の流れとなり、逆転で接戦は、専大のリードで前半を折り返すも、相手の猛攻を前に逆転された。井齋沙耶(経済4・帯広南商高)や村山(経営3・昭和学院高)の活躍で追い上げをみせたが、点差を縮められず57-66で敗退となった。

順位決定トーナメント



▶ オフェンスをけん引した柳瀬 撮影・石川



▶ ポイントゲッターの役割を果たした百崎